

アプリケーションカタログ

1mol/L-塩酸溶液のファクタ

関連業界	:	無機工業品
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	電位差滴定法/酸塩基滴定
関連規格	:	JIS K 8001

1. 概要

容量分析では、滴定や添加などに用いる標準液のモル濃度を、端数の無い数値と、端数を係数にした数値に分けて正確なモル濃度を表します。そのときの係数をファクターと呼びます。1mol/L 塩酸溶液のファクターは、「JIS K 8001-1998試薬試験方法通則」に基づき、炭酸ナトリウムを試料として、1mol/L 塩酸溶液で滴定し、その滴定量から算出します。なお、当量点は、炭酸水素ナトリウムを生成する第一変曲点と、炭酸水素になって反応が終結する第二変曲点が現れますが、通常第二変曲点を用います。

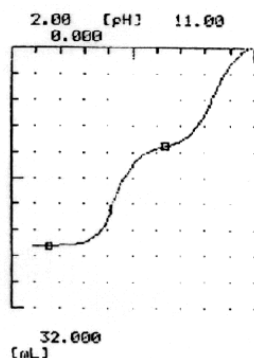
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置（標準プリアンプリファイア：STD）
電極	:	複合ガラス電極 温度補償電極

3. 試薬

滴定液	:	1mol/L 塩酸溶液
標準物質	:	炭酸ナトリウム

4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	Sample (g)	titer (mL)	Factor
1	1.2898	24.3092	0.9963
2	1.2742	24.0696	0.9940
3	1.2900	24.2882	0.9973
平均			0.9959
偏差			0.0017
RSD (%)			0.17

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>